

事務事業名		被害農作物取りかたづけ等支援事業費					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農政係	担当課長名	藤掛 広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	1 施設園芸・果樹栽培の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8638	一般	6	1	2	被害農作物取りかたづけ等支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			国県補助事業			
事業計画	単年度のみ		事業期間	H26年度～H26年度		根拠法令 条例等	栃木県農業災害特別 対策措置条例				
	任意の事業・義務的の事業		任意の事業			任意の事業					
	実施方法		直営			直営					
	事業分類		支援事業			支援事業					
リーディングプロジェクト		該当なし			該当なし						
市長マニフェスト		該当なし			該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
農作物が、その収穫直前において、100分の70以上の被害を受けた場合において、その取りかたづけに要する労賃等を補助することで、農作物の生産維持を図る			被災を受けた花卉栽培農家1件に対し、取りかたづけ費用の補助を行った 被害面積 0.09 <sup>2</sup> 、取りかたづけ費用単価 13,600円/10 <sup>2</sup> 補助金額 12,240円 ※参考:補助率 県1/2、市1/2							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			事業対象被災農業者	人	0	4	0	0	0	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
施設内の農作物に一定規模の被害のあった農業者に農作物の取りかたづけ労賃を補助する			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			補助対象被災農業者	人	0	1	0	0	0	
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
補助を受けた被災農業者が、被災前のように、営農を再開すること			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			補助対象被災農業者	人	0	1	0	0	0	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができています。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			施設園芸取扱量	トン	-	1,421	1,565	1,580	1,590	
			果樹栽培面積	a	-	3,427	3,240	3,260	3,280	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円			6					
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円			6					
	事業費計(A)	千円		0	12	0	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					補助金	12				
人件費	千円		0	591	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	603	0	0	0			

事務事業名	被害農作物取りかたづけ等支援事業費	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農政係
-------	-------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成26年2月上中旬の降雪により農業者が甚大な被害を受けたことにより、その営農再開を目的として、県条例の適用の採択を受けた
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	再建に先立ち、価値のなくなった農作物の取りかたづけは、生産者にとって辛いものであったが、きれいに片付いた圃場を見て、再度農業生産再開への意欲がわきあがった
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	補助金が出たことは、大変ありがたかった

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 被災後も継続して農業を行っていく意欲のある農業者への支援を行うことは、将来的に地域農業の中核となり得る農家の担い手となることが期待できる
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 補助金の支出であり、県の定める要綱・要領に市が事業主体となることとされている
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 被災後も継続して農業を行っていく意欲のある農業者への支援であり、妥当である
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 補助金の支出であり、支援を受けた農業者の更なる発展を期待する
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 県の要綱・要領上、県、市の負担割合が示されており、削減の余地はない
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
受益者負担を求める必要がない		理由・改善案 県の要綱・要領上、県及び市が全額負担することとされているため、受益者負担を求めるものではない
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
平成26年2月上中旬の降雪による被災に限定して適用を受けた事業であり、今年度限りで事業終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)  	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			